

職 員 提 案 書

提案者氏名		代表者	
代表者 所属部課			
要件 右記のどれか	1. 政策・事業提案		
	1- (1) 事務及び作業の能率向上に関すること		
	1- (2) 市民サービスの向上に関すること		
	1- (3) 経費の節減に関すること		
	1- (4) 収入の増加に関すること		
	1- (5) 施設の有効利用に関すること		
	1- (6) 人材育成に関すること		
	1- (7) その他公益上有効であること		
	2. 課題提案		
	3. 課題設定提案		
4. 業務改善事例提案			
概 要			
【タイトル】 清瀬の四季周遊庭園			
【提案種類】 3. 課題設定提案 ※上記要件であればまるものをご記入ください			
【提案内容】 ・清瀬は雑木林や農地が多く豊かな自然環境に恵まれており、市民の皆さんは散策を楽しんでおられます。 ・遺贈された土地が、台田の社を中心に点在していますので、これらの土地を庭園として周遊してもらい市民の憩いの場として利用していただければと考えます。 ・これらの土地に一年を通して楽しめる花卉植物を計画的に植栽する。各エリアにはテーマを設定する 【例】 ①清瀬の野草園 ②ハーブ庭園 ③西洋ガーデン ④つつじ園 ⑤竹林 etc. ・極力手入れが必要としない植物とする。×成長が著しく早い、害虫がつきやすい、病気になりやすい ・花卉類に加え、ブルーベリー、ミカン類、ビワ、カキ、ラズベリー、カリンなど果樹を育成し、手摘みのイベントをしたり、ジャムや果実酒などの加工品を販売するなど ・庭園デザインなど技術的アドバイスは、清瀬花卉クラブ、清瀬植木生産組合などから。 ・継続的な手入れ、育成作業、食品加工には精神・知的障害者福祉施設やNPO、ボランティアグループ、シルバー人材センターの活用など。			
【現状と効果】			
【現状】 ・日本人は四季の移り変わりに敏感であり、古来より美しい花々を観賞する文化があります。富良野のラベンダーをはじめ秩父の芝桜、足利の藤など各地では花を観光の目玉として集客に成功しています。清瀬市でも、カタクリまつり、ひまわりフェスティバルなどが人気を集めているところです。			
【効果】 ・一年を通して花や果樹を楽しんでもらい、清瀬に愛着を持っていただく ・自然を楽しみながら散策することにより健康増進につながる。「健幸」づくりの一環となる。 ・障害のある方や引きこもりの方、高齢者などが植物の世話をすることにより、機能回復の向上や社会参加につながる(園芸療法)。 ・収益事業化することにより、達成感や勤労意欲の向上につながる。			
【備考】			
・地域振興、福祉関係補助金の活用			

追加検討シート

タイトル	清瀬の四季周遊庭園
提案種類	2. 課題提案
背景	①目指すべき姿 市民の方が清瀬に愛着を持っていたけような魅力ある地域づくりを目指したい。清瀬のアピールポイントである恵まれた自然をいかしていく。
	②現状(現状はどのような状態ですか) ・市では柳瀬川流域を中心に、柳瀬川回廊、せせらぎ公園、金山緑地公園などが整備され、カタクリの群生地や希少な野草が自生する雑木林が緑地保全地域として指定されています。また、さくらまつり、カタクリまつり、ひまわりフェスティバルなどが催されるなど、市民が身近に自然に触れることができる環境と機会が整っていることが清瀬の大きな魅力のひとつとなっています。 ・清瀬は都心へのアクセスが便利で、子育て支援や高齢者支援が充実している点が隣接する他県他市と比較して優位ではあるものの、人口推計は微増であり将来的には超高齢化問題は避けられないと考えられます。医療費等財政面や個人の幸福追求の為に市民の健康増進が必須と思われます。
	③課題(①と②のギャップ) ・庭園を維持管理する人材や費用の確保が課題です。また、訪問者は一過性ではなく、リピーターを増やし定着化させることが課題となります。 ・いかに四季を通じて楽しめる魅力ある庭園をつくるか?大きく造園デザインと植栽計画に関わってきます。現況は畑地や雑種地となっている当該地をなるべくそのままいかしつつ、周囲の環境に溶け込むようなデザインにしなければならぬと考えます。
内容	④対象者(誰をターゲットにしていますか) 平日は日中在宅者である元気高齢者や子育て世代 休日は全般
	⑤手段(具体的な事業概要、事業の進め方) できる限り市内の資源を活用して整備・運営をしていく。造園デザイン計画策定にあたっては、清瀬の気候風土や植生を熟知している市内の造園事業者、農業者団体、自然を守る会など関係者等による委員会を設置し、必要に応じて庭園デザイナーの助言を得ながら進めていく。日本庭園は別として自然庭園デザインのプロフェッショナルは未だ裾野が広がらない。また、「これが正解」というものを求められない。年月をかけてつくっていくものでもある。整備後も継続的な諮問機関が必要となる(限定期間を設け3～5年程度)。最初から関係者を巻き込むことにより、当事者としての意識啓発が可能となる。必要な対価を支払い、維持管理(監督部分)にも関わっていただく。ただし、複数の機関が関与すると調整が難しいため、庭園毎に担当を振り分けることも考えられる。計画の段階で毎年の維持管理作業内容と作業量、費用を見積もる必要がある。作業内容・費用などを勘案し、殖種や摘花(果)、雑草除去、掃除、散水など維持管理の作業部分は、請負事業者の適性に応じて障害者施設やシルバー人材センターなどに委託する。(施設は移動手段の確保ができればとなる。)また、作業している方から「〇〇が見頃です」など市のホームページやフェイスブックなどにアップできるようレポートしてもらい集客につなげる。農薬散布は専門業者とするなど事故対応も考慮する。総面積2800坪あまりの広大な土地であるが、樹木、グラウンドカバーグラスなどは極力手入れが少なくてもよいものとし、週1回程度の手入れで管理できるよう計画する。
	⑥意図(効果)(“手段”により“対象者”をどのような状態にすることをめざしますか) ・市民に自然を楽しんでもらう。 ・(主に高齢者)が外出する機会を増やし、心身ともに健康になっていただく。 ・気軽にいける場として親しんでいただくため入場料は徴収しない。徴収する手段がない。ただし、摘花や摘果などのイベントを行う際は徴収する。また、主旨に賛同していただける市民からの寄付があれば基金として運用する。
	⑧費用 ・整備時…庭園デザイン委託料、諮問機関委員謝金、造園工事委託料 ・維持管理(毎年)…諮問機関委員謝金、維持管理委託料(監督・作業)、農機具、農薬、肥料、種苗などの諸経費 ・補助金の活用が可能か検討する。
	⑨指標 柳瀬川回廊など近くを散歩する人にも訪れてもらい、歩行距離を2キロ程度延ばす。
自由記載欄	目に見える収益を見込めない事業ですが、美しい自然環境をつくる・守ることも公共の資産になると思います。(経営的には売却するのが即効性のある資産運用であることは自明です。駅から遠い現地は今後の人口減を見据えると長期的には地価は下がるであろうと思われます。)

清瀬市中里六丁目245番1

- きれいな草花や木々を見ながら歩いて健幸になろう。
- 清瀬のまちを歩けば身近な発見がいっぱい。

もうすぐ花が
咲きそう！

新緑がきれい

伊藤記念公園 台田の杜

清瀬市中里六丁目35番

清瀬市中里五丁目9番1

清瀬市中里五丁目3番2

清瀬市中里五丁目4番1

清瀬市中里五丁目17番1

清瀬市中里五丁目5番1及び同2

清瀬市中里五丁目7番2及び同3

一周すると100kcal
消費するより
僕の0.6回分なんだよ。

台田の杜を起点に庭園を1周すると直線距離で約1.8km。
アッスダウンもあるから徒歩で40分～1時間位。

清瀬の四季周遊庭園 イメージ

～花卉や果樹を一年を通して楽しめる庭園～

清瀬花卉クラブや清瀬植木生産組合など



※市内農業振興

○庭園デザイン
○育成指導などの技術的アドバイス

障害者施設、NPO、ボランティアグループ、
シルバーク人材センターなど



※園芸療法
※福祉事業所の活用
※高齢者の生きがいづくり

※各庭園にテーマを設定

- 清瀬の野草園
- ハーブ庭園
- 西洋ガーデン
- ツツジ園
- 竹林 など



市民の健康づくりの場として



○緑あふれる美しいまちづくり

市民の交流の場として



ジャム、果樹酒やお菓子など加工品の販売

ブルーベリー摘みや
ミカン狩りなどのイベント

○庭園の手入や育成作業

○果樹の加工作業など

※補助金等の活用の例

- 江戸のみどり復活事業補助金
- 都区市町村都の連携による地域環境活力化事業補助金
- 都苗木生産供給事業 など